

令和7年度事業計画書

1 事業の実施計画

<令和7年度方針>

飼料等資材価格の高止まりなど畜産を取り巻く状況は厳しさを増す一方、物価高により畜産物の消費が減退したことから、畜産物価格の低迷が見られる。また、家畜衛生面では、高病原性鳥インフルエンザの発生や豚熱の散発、アフリカ豚熱への警戒など防疫対策のさらなる強化が求められている。

当協会では、和歌山県の畜産が健全に発展していくための基礎として、畜産経営における生産効率の改善、収益性強化の支援に重心を置くことはもとより、家畜及び畜産物の生産・流通及び価格の安定を図る事業を実施する。加えて、家畜防疫・衛生対策向上や畜産物の生産から消費までの安全確保・相互理解を醸成する活動等を展開していく。

そのため、当協会は、県関係機関及び会員団体等の理解と協力を得ながら、連携を強め組織強化を図り、畜産の健全な発展に資することを目的に、以下の諸事業を積極的に推進する。

(1) 公益目的事業

畜産に関する生産の振興に関する事業

(趣旨・目的)

国民生活に不可欠な食料である畜産物（牛・豚・鶏肉、卵、牛乳等）を国内で安定的に供給し、食料自給率の向上に寄与することを目的とした、畜産の生産振興に関する以下の事業を実施する。

(事業内容)

1) 熊野牛改良増殖推進

全国的に実施されている和牛の育種改良のための血統登録を行い、牛の持つ能力を指標化した育種価を判明させるとともに、和歌山県特産牛「熊野牛」の繁殖・産肉能力に関する個体情報の収集分析を行い、「熊野牛」飼養農家にデータの提供を行うとともに、育種改良に必要な研修等を行う。

	区分	計画	前年度計画	
1	和歌山県委託 (県議会未承認)	熊野牛改良増殖推進事業費	1,662,000円	1,236,000円
		事業対象繁殖雌牛飼養農家	24戸	24戸
		情報提供繁殖雌牛	630頭	630頭
		牛脂肪酸測定	300頭	—

2	全国和牛登録協会委託・補助	和牛登録事業費 会員数 和牛血統登録件数 和牛登録研修会	1,788,120円 30戸 676件 1回	1,744,828円 33戸 664件 1回
3	和歌山県補助	熊野牛ゲノミック育種価解析支援金 ゲノミック評価件数	—	8,000,000円 800件

2) 畜産技術高度化推進

飼養管理技術の調査研究、畜産を取り巻く情勢や動向の調査・分析、畜産経営技術の指導方策を検討するための畜産技術高度化支援指導研究会を開催するとともに、生産技術の改善指導、後継者等担い手の育成・就農支援、HACCP やポジティブリストへの対応等高度化する技術への対応指導を行う。

	区分	計画	前年度計画	
1	和歌山県委託 (県議会未承認)	畜産経営指導事業費 支援指導研究会 経営改善指導 担い手支援指導 高度化支援指導	5,219,000円 1回 58回(29戸) 3回(各10戸) 30回(10戸)	4,889,000円 1回 40回(20戸) 3回(各10戸) 30回(10戸)
2	和歌山県農業協同組合 連合会委託	畜産技術経営指導事業費 技術及び経営指導 生乳生産履歴の管理指導	—	811,000円 9回(3戸) 12回(3戸)
3	中央畜産会請負	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策 事業費(全国推進事業) 全国実態調査	800,000円 10戸	800,000円 10戸
4	中央畜産会請負	生産技術情報提供事業に係る生産技 術指導情報の収集業務	1,065,000円 15戸	976,000円 14戸
5	畜産経営相談窓口整備	畜産経営相談窓口の設置	常時	常時

3) 畜産に対する理解増進

熊野牛を始め県内畜産物の生産から消費に至る「食の安全」の相互理解を促進するため、認定制度の運用を行うとともに、講師の派遣や畜産関連施設視察などを通じて一般の方々に県内畜産物の重要性の理解を増進するため各種PR活動を行う。

ア 熊野牛認定制度の運用

安全・安心な県産牛肉の提供を目的に、熊野牛の認定基準に適合した牛肉に対し認定証を交付する。

イ 講演会等の開催

消費者を対象とした畜産の重要性をPRするための講演会講師を派遣する。

ウ 畜産関連施設視察

馬事・畜産の普及啓発と県内畜産物の消費拡大を図る観点から、連携機関の協力を得て、一般消費者を対象とした競馬場視察を開催する。

区分		計画	前年度計画	
1	畜産物認定事業収益	熊野牛認定業務費	3,190,000円	2,990,000円
		熊野牛認定証交付	550件	460件
2	和歌山県熊野牛ブランド化推進協議会委託	熊野牛トレーサビリティシステム管理作業費	—	90,000円
3	講演会等の開催	畜産おはなし講座	4回	3回
4	畜産関連施設視察	競馬場視察	1回	1回

4) 畜産の活性化推進事業

畜産の生産力及び収益力強化を図るとともに、地域畜産の支援基盤の活性化を図るため、家畜増頭奨励金の交付や機械設備等導入支援を行うとともに、事業の円滑な推進のため、県内畜産関係団体との連絡調整会議等の開催及び県内畜産関係団体業務支援を行う。

ア 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係る事業推進業務

畜産クラスター協議会が導入するリース機械の手続き業務を行う。

イ ICT化等機械装置等導入事業に係る事業推進業務

労働負担軽減事業の円滑な推進を図るため、県内関係者への普及推進業務、畜産ICT応援会議に対して事業推進指導・内容確認業務を行う。

ウ 酪農経営支援総合対策事業（酪農労働省力化対策事業）都道府県段階推進業務

労働負担軽減事業の円滑な推進を図るため、県内関係者への普及推進業務、楽酪応援会議に対して事業推進指導・内容確認業務を行う。

エ 和歌山県熊野牛子牛市場業務

和歌山県熊野牛子牛市場の業務のうち一部（証明書作成、代金管理等）を実施する。

オ 熊野牛産地化推進協議会事務局業務

熊野牛産地化推進協議会の事務局業務の一部（会計等）を実施する。

カ 熊野牛子牛市場業務

熊野牛子牛市場の業務のうち一部（事務処理、会計等）を実施する。

キ 全国和牛能力共進会和歌山県出品協議会事務局業務

全国和牛能力共進会和歌山県出品協議会の事務局業務の一部（事務処理、会計等）を実施する。

ク 和歌山県養鶏協会事務局業務

和歌山県養鶏協会の事務局業務の一部（事務処理、会計等）を実施する。

ケ 地域団体連携協調体制強化

地域畜産関係団体との連携強化、生産者の組織化、県内の生産者や関係団体との連携強化を図るための活動を実施する。

コ 優良繁殖雌牛更新加速化事業に係る事業推進業務

高齢の繁殖雌牛から、優良な繁殖雌牛に更新する場合に、実績に応じて奨励金を交付する

事業の推進、県内における取組主体の取りまとめ、窓口業務、連絡・調整・データ整理及び調査業務を行う。

サ 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業に係る委託業務

生産者等からの輸出相談に応じるための相談窓口の設置及び、輸出に対する生産者の理解醸成や意識向上を図る活動を実施する。

	区分		計画	前年度計画
1	中央畜産会委託	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費（機械導入事業）	620,000 円	617,000 円
2	中央畜産会委託	ICT 化等機械装置等導入事業 (前年度：畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産経営体生産性向上対策))	175,000 円	194,000 円
3	中央畜産会委託	酪農経営支援総合対策事業(酪農労働省力化対策事業)	584,000 円	600,000 円
4	和歌山県農業協同組合 連合会委託	和歌山県熊野牛子牛市場業務費 子牛市場	170,400 円 3 回	284,000 円 5 回
5	熊野牛産地化推進協議 会委託	熊野牛産地化推進協議会事務局事務 費	100,000 円	200,000 円
6	熊野牛産地化推進協議 会委託	熊野牛子牛市場業務費 子牛市場	1,030,200 円 3 回	1,717,000 円 5 回
7	全国和牛能力共進会和 歌山県出品推進協議会 委託	全国和牛能力共進会和歌山県出品推 進協議会事業費 委員会	340,000 円 4 回	360,000 円 4 回
8	和歌山県養鶏協会委託	和歌山県養鶏協会事務局事務費	274,000 円	264,000 円
9	地域団体連携協調体制 強化	畜産関係団体連絡協議会 種牛共進会 研修会	1 回 1 回 1 回	1 回 1 回 -
10	全国肉用牛振興基金協 会委託	優良繁殖雌牛更新加速化業務費	610,000 円	596,000 円
11	日本畜産物輸出促進協 議会委託	畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策 事業に係る委託業務費	1,000,000 円	830,000 円

5) 家畜衛生対策事業

畜産物の安心・安全確保や家畜の健康維持を図るため、家畜伝染病の発生予防や自衛防疫対策を確立するための研修会等の開催及び家畜伝染病発生時の経営再開支援を行う。

ア 家畜伝染病に対する地域自衛防疫対策を確立するための研修会等を行う。

イ 家畜伝染病発生時の復興支援のため、家畜防疫互助制度への参加推進を行う。

	区分	計画	前年度計画
--	----	----	-------

1	中央畜産会補助	家畜防疫・衛生指導対策事業費 防疫演習 防疫研修会	3,800,000円 1回 3回	3,800,000円 1回 3回
2	中央畜産会委託	家畜防疫互助基金支援事業に係る都道府県段階事業推進業務費 (前年度：家畜防疫互助等推進事業費) 家畜防疫互助金交付契約者	880,000円 41戸	975,000円 44戸

6) 肉用牛価格安定対策事業

県内肉用牛飼養農家からの生産者積立金と補助金等で基金を造成し、肉用牛価格があらかじめ設定した基準価格を下回った場合、基金を取り崩して補給金（補填金）を交付する。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

区分		計画	前年度計画	
1	農畜産業振興機構補助	肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業費 内事務委託費 事務委託先（和歌山県） 生産者補給金交付契約者 肉用子牛個体登録頭数（R7.1～R7.12） 黒毛和種 乳用種 交雑種	7,193,465円 (280,000円) 1団体 28戸 560頭 510頭 0頭 50頭	7,190,000円 (285,000円) 1団体 33戸 570頭 530頭 5頭 35頭
2	生産者積立金	農畜産業振興機構積立助成金 和歌山県補助金（積立準備金） 生産者負担金	468,000円 234,000円 234,000円	497,000円 248,500円 248,500円
3	生産者補給金交付契約手数料収益	生産者補給金交付契約手数料	504,000円 900円/頭	513,000円 900円/頭
4	生産者補給金	生産者補給交付金（機構負担分） 生産者補給交付金交付頭数（R7.1～R7.12） 黒毛和種 生産者補給金（積立金取崩分） 生産者補給金交付頭数（R7.1～R7.12）	22,032,000円 510頭 510頭 0円 0頭	17,654,000円 520頭 520頭 0円 0頭

イ 肉用牛肥育経営安定交付金制度

区分		計画	前年度計画	
1	農畜産業振興機構委託	肉用牛肥育経営安定交付金制度経営安定委託業務費 内事務委託費 内業務委託費	6,178,000円 (181,000円) (145,000円)	6,345,000円 (191,000円) (145,000円)

		肥育牛補填金交付契約者数	16戸	21戸
		事務委託先（市町村・配飼協・JA）	9団体	10団体
		業務委託先（配飼協）	1団体	1団体
2	肥育牛積立金	生産者負担金	14,442,000円	8,435,000円
		肥育安定基金造成頭数（R7.4～R8.3）	972頭	810頭
		*在庫牛の再積立含む		
		肉専用種	912頭	760頭
		交雑種	54頭	45頭
		乳用種	6頭	5頭
3	肥育牛補填金交付契約手数料収益	肥育牛補填金交付契約手数料	810,000円	810,000円
			1,000円/頭	1,000円/頭
4	肥育牛補填金	肥育牛補填金	10,812,980円	6,683,200円
		肥育牛補填金交付頭数（R7.2～R8.1）	318頭	406頭
		肉専用種	310頭	380頭
		交雑種	5頭	23頭
		乳用種	3頭	3頭

ウ 優良和子牛生産推進緊急支援事業

子牛価格が堅調に推移するまでの間、和子牛生産者のセーフティネットを臨時的に措置し、肉用子牛生産基盤の安定を図るため、和子牛生産に係る合理化に取り組む和子牛生産者に対し、子牛の平均価格が基準価格を下回った場合に奨励金を交付する事業の推進業務を行う。

	区分		計画	前年度計画
1	農畜産業振興機構補助	優良和子牛生産推進緊急支援事業費	421,000円	421,000円

7) 1)～6)の事業を実施するため、畜産経営の支援体制の強化、地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供、馬事普及啓発の推進体制の強化を図るとともに、県及び他の畜産関係団体が行う事業に対して、本協会の趣旨に反しない限り協力する。

	区分		計画	前年度計画
1	地方競馬全国協会補助	畜産経営技術指導事業費	15,639,000円	15,939,000円
2	中央畜産会委託	地域畜産支援指導等体制強化事業に係る委託事業費	2,500,000円	2,400,000円

2 重要な契約に関する事項

令和7年度に締結予定の多額の長期借入金契約、重要な資産の売買契約、重要な工事の発注予定はない。

3 役員会等に関する事項

(1) 監査会

開催予定年月 令和7年5月
主な議事事項 1) 令和6年度事業報告等の監査
2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査

(2) 理事会

(第1回)

開催予定年月 令和7年6月
報告事項 職務執行報告
主な議事事項 第70回定時総会提出議案について

(第2回)

開催予定年月 令和8年3月
報告事項 職務執行報告
主な議事事項 令和8年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について

(3) 総会

(第70回定時総会)

開催予定年月 令和7年6月
主な議事事項 1) 令和6年度事業報告並びに計算書類等の承認について
2) 会費の金額及び納期並びにこれらの免除について
3) 役員の一部選任について

収支予算書

別紙のとおり

資金調達及び設備投資の見込を記載した書類

- (1) 資金調達の見込みについて
借入の予定なし

- (2) 設備投資の見込みについて
予定無し